

## 令和6年木材統計

素材需要量は2,280万4千 $m^3$ で、前年に比べ86万5千 $m^3$  (3.7%) 減少

素材供給量に占める国産材の割合は88.1%で、前年に比べ0.9ポイント上昇

### 【調査結果の概要】

#### 1 素材需給の動向

##### (1) 素材需要量

令和6年の素材需要量は2,280万4千 $m^3$ で、前年に比べ86万5千 $m^3$  (3.7%) 減少した。

このうち、素材需要量の約6割を占める製材用は1,443万5千 $m^3$ で、前年に比べ62万6千 $m^3$  (4.2%) 減少した。

需要部門別の構成比は、製材用が63.3%、合板等用が19.7%、木材チップ用が17.0%となった。

図1 素材需要量の推移（全国）

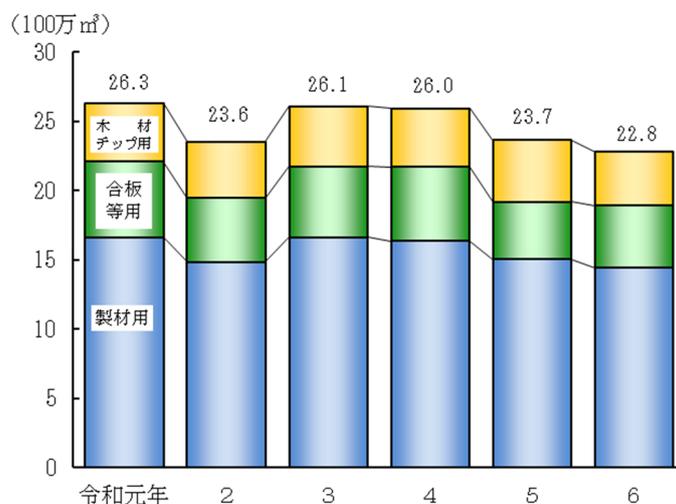


表1 素材需要量（令和6年）

区分	全国	対前年比	構成比
	千 $m^3$	%	%
素材需要量	22,804	96.3	100.0
製材用	14,435	95.8	63.3
合板等用	4,499	108.8	19.7
木材チップ用	3,870	86.6	17.0

- 素材需要量とは、製材工場、合単板工場及び木材チップ工場への素材の入荷量である。
- 素材供給量については、素材需要量をもって供給量としている。
- 統計表の各都道府県別の素材生産量とは、本調査においては、山元段階の調査が困難なことから、工場入荷量の入荷元の都道府県ごとに集計したのものをもって当該都道府県における素材生産量としている。このため、都道府県の素材需要量と素材生産量は一致しない場合がある。

(2) 素材供給量

素材供給量のうち国産材は2,009万m<sup>3</sup>で、前年に比べ55万7千m<sup>3</sup>（2.7%）、輸入材は271万4千m<sup>3</sup>で、同30万8千m<sup>3</sup>（10.2%）それぞれ減少した。

素材供給量に占める国産材の割合は88.1%で、前年に比べ0.9ポイント上昇した。

図2 素材供給量及び国産材供給割合の推移（全国）

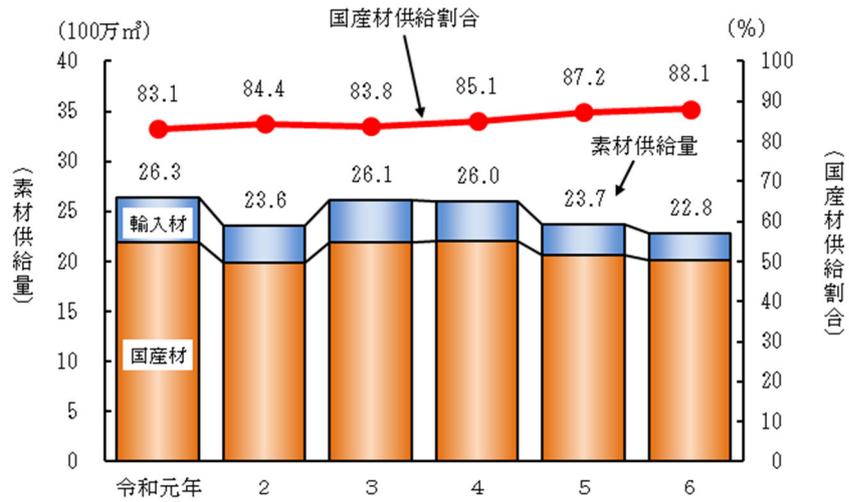


表2 素材供給量（令和6年）

区 分	全 国	対前年比	構成比
	千m <sup>3</sup>	%	%
素 材 供 給 量	22,804	96.3	100.0
国 産 材	20,090	97.3	88.1
輸 入 材	2,714	89.8	11.9

## 2 製材品出荷量

製材品出荷量は760万7千 $\text{m}^3$ で、前年に比べ35万8千 $\text{m}^3$ （4.5%）減少した。

## 3 普通合板及び特殊合板の生産量

普通合板生産量は250万6千 $\text{m}^3$ で、前年に比べ2万6千 $\text{m}^3$ （1.0%）減少した。

特殊合板生産量は48万7千 $\text{m}^3$ で、前年に比べ3万2千 $\text{m}^3$ （6.2%）減少した。

## 4 LVL生産量

LVL生産量は20万8千 $\text{m}^3$ で、前年に比べ2万 $\text{m}^3$ （8.8%）減少した。

## 5 木材チップ生産量

木材チップ生産量は448万8千tで、前年に比べ77万2千t（14.7%）減少した。

## 6 集成材及びCLT生産量

集成材生産量は175万1千 $\text{m}^3$ で、前年に比べ7万6千 $\text{m}^3$ （4.5%）増加した。

CLT生産量は2万1千 $\text{m}^3$ で、前年に比べ3千 $\text{m}^3$ （16.7%）増加した。

表3 製材品出荷量並びに普通合板、特殊合板、LVL、木材チップ、集成材及びCLT生産量（令和6年）

区 分	単位	全 国	対前年比
			%
製材品出荷量	千 $\text{m}^3$	7,607	95.5
普通合板生産量	千 $\text{m}^3$	2,506	99.0
特殊合板生産量	千 $\text{m}^3$	487	93.8
LVL生産量	千 $\text{m}^3$	208	91.2
木材チップ生産量	千t	4,488	85.3
集成材生産量	千 $\text{m}^3$	1,751	104.5
CLT生産量	千 $\text{m}^3$	21	116.7

◎ 累年データ

1 需要部門別素材需要量及び材種別素材供給量（全国）

単位：千m<sup>3</sup>

年次	需要部門別素材需要量				材種別素材供給量		
	計	製材用	合板等用	木材チップ用	計	国産材	輸入材
平成27年	(25,092)	16,182	(4,218)	4,692	(25,092)	(20,049)	(5,045)
28	(26,029)	16,590	(4,638)	4,801	(26,029)	(20,660)	(5,370)
29	26,466	16,802	5,004	4,660	26,466	21,408	5,059
30	26,545	16,672	5,287	4,586	26,545	21,640	4,905
令和元	26,348	16,637	5,448	4,263	26,348	21,883	4,465
2	23,550	14,851	4,626	4,073	23,550	19,882	3,668
3	26,085	16,650	5,093	4,342	26,085	21,847	4,238
4	25,954	16,363	5,355	4,236	25,954	22,082	3,872
5	23,669	15,061	4,137	4,471	23,669	20,647	3,022
6（概数）	22,804	14,435	4,499	3,870	22,804	20,090	2,714

資料：農林水産省統計部『木材需給報告書』（以下2の統計表まで同じ。）

注：（ ）内の値は、LVL用を含まない。

2 製材品の出荷量、合板（普通・特殊）生産量、木材チップ生産量（全国）

年次	製材			合単板				木材チップ	
	工場数	製材品出荷量	人工乾燥材	工場数	普通合板生産量	針葉樹合板	特殊合板生産量	工場数	木材チップ生産量
	工場	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	工場	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	千m <sup>3</sup>	工場	千t
平成27年	5,206	9,231	3,153	185	2,756	2,569	524	1,424	5,745
28	4,934	9,293	3,421	183	3,063	2,888	642	1,393	5,826
29	4,814	9,457	3,929	181	3,287	3,143	623	1,364	5,954
30	4,582	9,202	3,930	180	3,298	3,150	580	1,303	5,706
令和元	4,382	9,032	4,187	176	3,337	3,212	562	1,250	5,266
2	4,115	8,203	3,825	173	2,999	2,896	551	1,196	4,753
3	3,948	9,091	4,187	158	3,172	3,087	494	1,082	6,070
4	3,804	8,600	4,100	155	3,059	2,919	516	1,110	5,278
5	3,749	7,965	4,005	164	2,532	2,481	519	1,119	5,260
6（概数）	3,547	7,607	3,934	154	2,506	2,450	487	1,073	4,488

【調査結果】

1 素材需給の動向

(1) 素材需要量（統計表 1 (1)ア～エ 参照）

素材需要量は 2,280 万 4 千 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 86 万 5 千 m<sup>3</sup>（3.7%）減少した。

これを需要部門別にみると、製材用は 1,443 万 5 千 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 62 万 6 千 m<sup>3</sup>（4.2%）、木材チップ用は 387 万 m<sup>3</sup> で、同 60 万 1 千 m<sup>3</sup>（13.4%）それぞれ減少し、合板等用は 449 万 9 千 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 36 万 2 千 m<sup>3</sup>（8.8%）増加した。

(2) 素材供給量（統計表 1 (1)ア 参照）

素材供給量のうち国産材は 2,009 万 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 55 万 7 千 m<sup>3</sup>（2.7%）、輸入材は 271 万 4 千 m<sup>3</sup> で、同 30 万 8 千 m<sup>3</sup>（10.2%）それぞれ減少した。

素材供給量に占める国産材の割合は 88.1% で、前年に比べ 0.9 ポイント上昇した。

表 4 需要部門別、材種別素材供給量（全国）（令和 6 年）

単位：千 m<sup>3</sup>

供給量 需要部門	計	国産材			輸入材					
		小計	針葉樹	広葉樹	小計	南洋材	米材	北洋材	ニュージーランド材	その他
計	22,804	20,090	18,719	1,371	2,714	19	2,206	125	294	70
製材用	14,435	11,958	11,867	91	2,477	19	1,985	125	291	57
合板等用	4,499	4,262	4,242	20	237	-	221	-	3	13
木材チップ用	3,870	3,870	2,610	1,260	0	-	-	-	0	-
対前年比 (%)										
計	96.3	97.3	98.9	79.7	89.8	43.2	88.4	102.5	95.1	134.6
製材用	95.8	97.4	97.4	105.8	88.8	x	87.0	102.5	95.4	x
合板等用	108.8	109.0	109.1	100.0	103.9	x	x	nc	x	x
木材チップ用	86.6	86.6	91.5	78.0	0.0	nc	x	nc	x	nc
構成比 (%)										
計	100.0	88.1	82.1	6.0	11.9	0.1	9.7	0.5	1.3	0.3
製材用	100.0	82.8	82.2	0.6	17.2	0.1	13.8	0.9	2.0	0.4
合板等用	100.0	94.7	94.3	0.4	5.3	-	4.9	-	0.1	0.3
木材チップ用	100.0	100.0	67.4	32.6	0.0	-	-	-	0.0	-

注：構成比については表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ）。

ア 国産材素材供給量（統計表 1 (3)ア～エ 参照）

国産材素材供給量を針葉樹、広葉樹別にみると、針葉樹は1,871万9千 $m^3$ で、前年に比べ20万7千 $m^3$ （1.1%）、広葉樹は137万1千 $m^3$ で、同35万 $m^3$ （20.3%）それぞれ減少した。

針葉樹を樹種別にみると、素材全体の供給量の約6割を占めるすぎは、1,208万5千 $m^3$ で、前年に比べ16万8千 $m^3$ （1.4%）増加し、ひのきは301万9千 $m^3$ で、同16万1千 $m^3$ （5.1%）、からまつは169万4千 $m^3$ で、同14万3千 $m^3$ （7.8%）、えぞまつ・とどまつは123万9千 $m^3$ で、同2千 $m^3$ （0.2%）、あかまつ・くろまつは45万3千 $m^3$ で、同4万1千 $m^3$ （8.3%）それぞれ減少した。

図3 樹種別の国産材素材供給量の推移（全国）

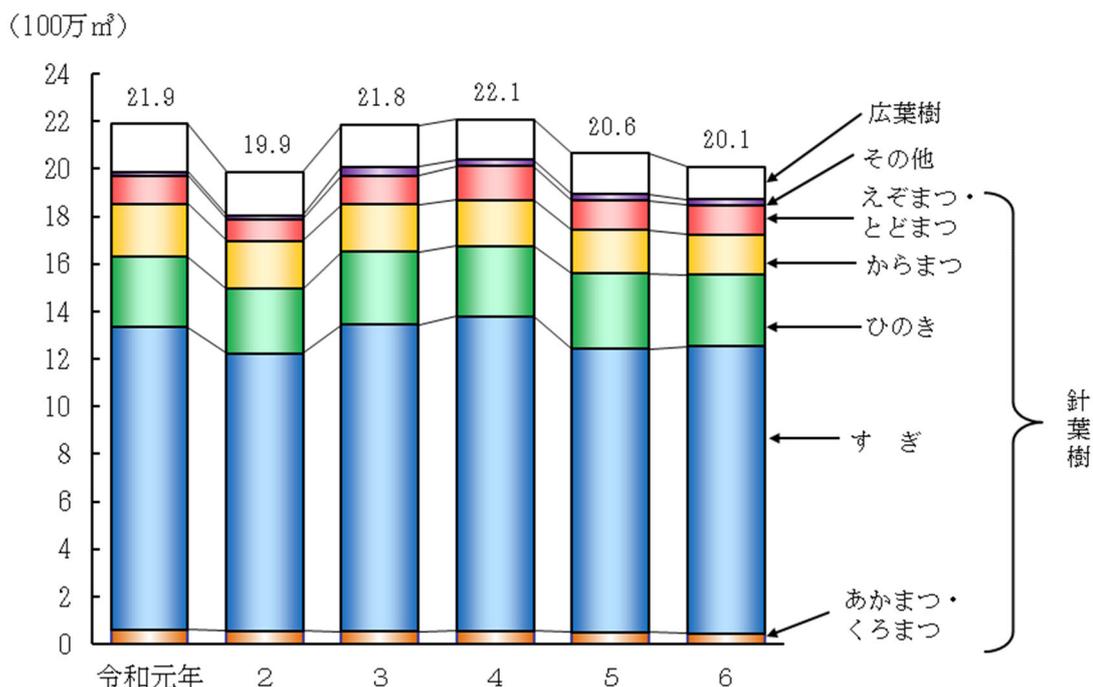


表5 樹種別の国産材素材供給量（全国）（令和6年）

供給量 需要部門	計	針葉樹							広葉樹
		小計	あかまつ・くろまつ	すぎ	ひのき	からまつ	えぞまつ・とどまつ	その他	
計	20,090	18,719	453	12,085	3,019	1,694	1,239	229	1,371
製材用	11,958	11,867	59	8,086	2,219	737	724	42	91
合板等用	4,262	4,242	149	2,622	550	685	213	23	20
木材チップ用	3,870	2,610	245	1,377	250	272	302	164	1,260
対前年比 (%)									
計	97.3	98.9	91.7	101.4	94.9	92.2	99.8	89.1	79.7
製材用	97.4	97.4	79.7	99.6	95.6	89.4	90.4	91.3	105.8
合板等用	109.0	109.1	98.0	121.2	88.4	93.7	106.5	109.5	100.0
木材チップ用	86.6	91.5	91.4	84.3	105.0	96.5	125.8	86.3	78.0
構成比 (%)									
計	100.0	93.2	2.3	60.2	15.0	8.4	6.2	1.1	6.8
製材用	100.0	99.2	0.5	67.6	18.6	6.2	6.1	0.4	0.8
合板等用	100.0	99.5	3.5	61.5	12.9	16.1	5.0	0.5	0.5
木材チップ用	100.0	67.4	6.3	35.6	6.5	7.0	7.8	4.2	32.6

イ 輸入材素材供給量（統計表 1 (1)ア、2 (5) 参照）

輸入材素材供給量を産地別にみると、輸入材の約 8 割を占める米材は 220 万 6 千 m<sup>3</sup>で、前年に比べ 28 万 9 千 m<sup>3</sup>（11.6%）、ニュージーランド材は 29 万 4 千 m<sup>3</sup>で、同 1 万 5 千 m<sup>3</sup>（4.9%）それぞれ減少し、北洋材は 12 万 5 千 m<sup>3</sup>で、同 3 千 m<sup>3</sup>（2.5%）増加した。

また、製材用素材の輸入材のうち半製品入荷量は 20 万 4 千 m<sup>3</sup>で、前年に比べ 2 万 2 千 m<sup>3</sup>（12.1%）増加した。

図 4 産地別の輸入材素材供給量の推移（全国）

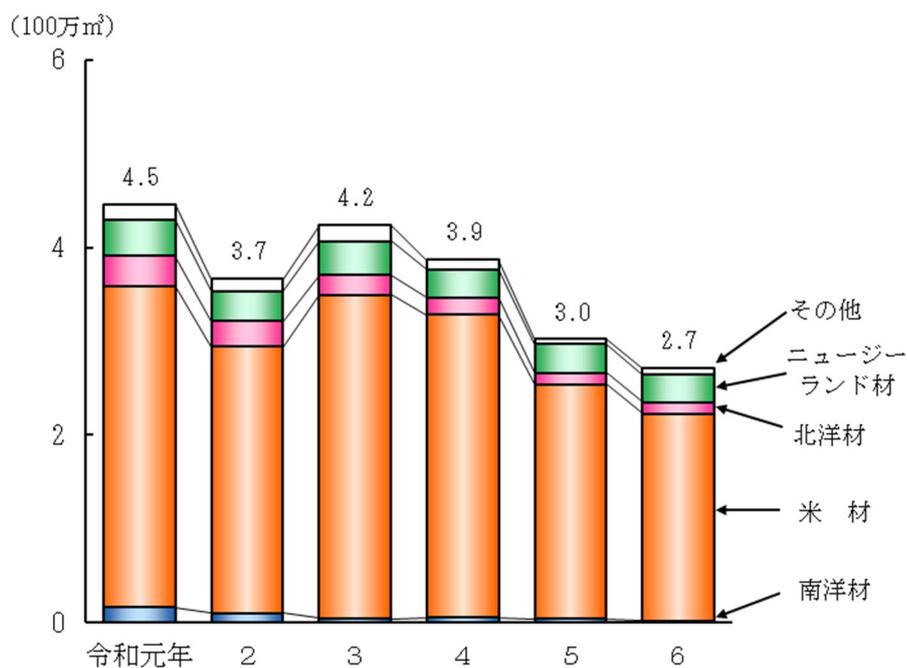


表 6 産地別の輸入材素材供給量（令和 6 年）

区 分	単位：千 m <sup>3</sup>					
	計	南洋材	米 材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全 国	2,714	19	2,206	125	294	70
対前年比 (%)	89.8	43.2	88.4	102.5	95.1	134.6
構 成 比 (%)	100.0	0.7	81.3	4.6	10.8	2.6

表 7 製材用の輸入材素材のうち半製品入荷量（令和 6 年）

区 分	単位：千 m <sup>3</sup>					
	計	南洋材	米 材	北洋材	ニュージーランド材	その他
全 国	204	2	49	105	9	39
対前年比 (%)	112.1	33.3	158.1	99.1	81.8	139.3
構 成 比 (%)	100.0	1.0	24.0	51.5	4.4	19.1

## 2 製材の動向

### (1) 製材工場数、製材用動力の出力数（統計表 2 (1) 参照）

製材工場数は 3,547 工場で、前年に比べ 202 工場（5.4%）減少した。これを製材用動力の出力階層別にみると、1,000.0 kW 以上の階層は増加し、それ以外の階層は減少した。

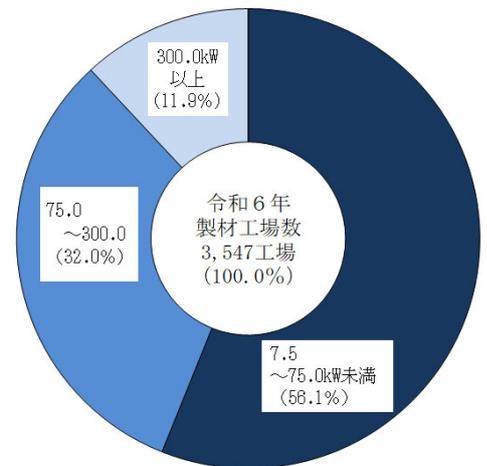
製材用動力の総出力数は 60 万 7,369.9kW で、前年に比べ 1 万 9,721.5kW（3.1%）減少した。

1 工場当たりの出力数は 171.2kW で、前年に比べ 3.9kW（2.3%）増加した。

表 8 製材用動力の出力階層別製材工場数及び出力数  
（令和 6 年）

区 分	単位	全 国	対前年比	構成比
工場数計	工場	3,547	94.6	100.0
出力階層別			%	%
7.5 ～ 75.0kW未満	"	1,989	93.3	56.1
75.0 ～ 300.0	"	1,136	96.3	32.0
300.0kW以上	"	422	96.3	11.9
うち1,000.0kW以上	"	86	101.2	2.4
総出力数	kW	607,369.9	96.9	-
1 工場当たり出力数	"	171.2	102.3	-

図 5 製材工場の出力階層別構成割合  
（全国）



### (2) 製材用素材消費量（統計表 2 (3) 参照）

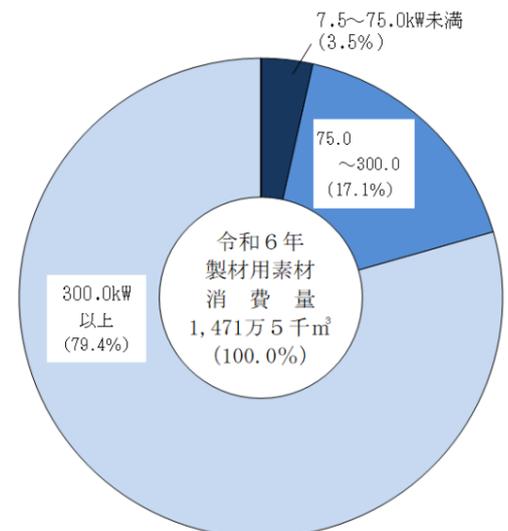
製材用素材消費量は 1,471 万 5 千 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 42 万 1 千 m<sup>3</sup>（2.8%）減少した。

1 工場当たりの素材消費量は 4,149 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 112 m<sup>3</sup>（2.8%）増加した。

表 9 製材用動力の出力階層別素材消費量（令和 6 年）

区 分	単位	全 国	対前年比	構成比
素材消費量計	千 m <sup>3</sup>	14,715	97.2	100.0
出力階層別			%	%
7.5 ～ 75.0kW未満	"	509	87.9	3.5
75.0 ～ 300.0	"	2,517	93.0	17.1
300.0kW以上	"	11,689	98.6	79.4
うち1,000.0kW以上	"	7,810	130.4	53.1
1 工場当たり素材消費量	m <sup>3</sup>	4,149	102.8	-

図 6 製材用素材消費量の出力階層別構成割合（全国）



(3) 製材品出荷量（統計表 2 (4) 参照）

製材品出荷量は 760 万 7 千 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 35 万 8 千 m<sup>3</sup>（4.5%）減少した。

これを用途別にみると、約 8 割を占める建築用材は 620 万 5 千 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 27 万 9 千 m<sup>3</sup>（4.3%）、木箱仕組板・こん包用材は 87 万 9 千 m<sup>3</sup> で、同 5 万 m<sup>3</sup>（5.4%）、土木建設用材は 29 万 4 千 m<sup>3</sup> で、同 2 万 6 千 m<sup>3</sup>（8.1%）、家具建具用材は 4 万 m<sup>3</sup> で、同 1 万 3 千 m<sup>3</sup>（24.5%）それぞれ減少した。

また、人工乾燥材出荷量は 393 万 4 千 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 7 万 1 千 m<sup>3</sup>（1.8%）減少した。

製材品出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合は 51.7% で、前年に比べ 1.4 ポイント上昇した。

図 7 用途別製材品出荷量の推移（全国）

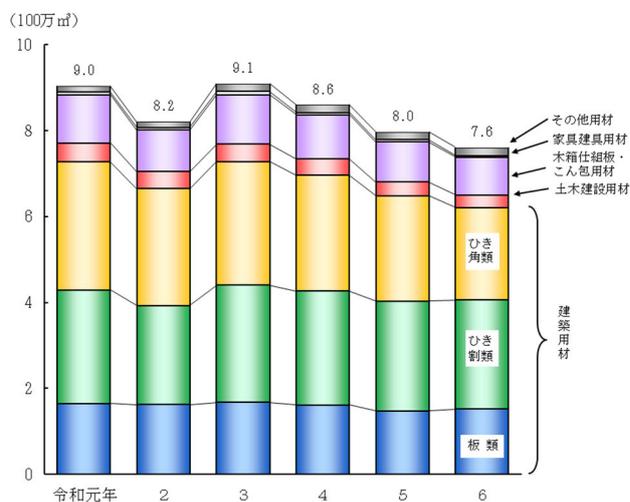


図 8 人工乾燥材出荷量及び製材品出荷量に占める人工乾燥材出荷量の割合の推移（全国）

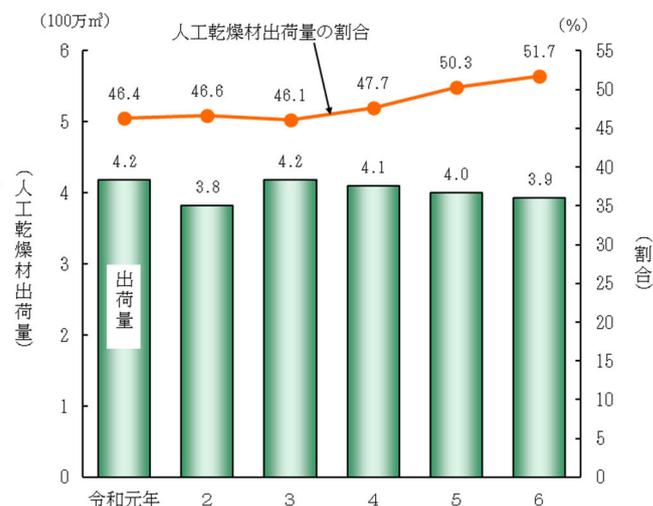


表 10 用途別製材品出荷量（令和 6 年）

区 分	単位：千 m <sup>3</sup>									
	計	建 築 用 材					土木建設 用 材	木箱仕組 板・こん 包 用 材	家具建具 用 材	その他 用 材
		人工乾燥材	小 計	板 類	ひき割類	ひき角類				
全 国	7,607	3,934	6,205	1,520	2,539	2,146	294	879	40	189
対前年比 (%)	95.5	98.2	95.7	103.1	99.1	87.7	91.9	94.6	75.5	105.6
構 成 比 (%)	100.0	51.7	81.6	20.0	33.4	28.2	3.9	11.6	0.5	2.5

### 3 合単板及びLVLの動向

#### (1) 合単板工場数（統計表3(1)参照）

合単板工場数は154工場で、前年に比べ10工場（6.1%）減少した。

これを工場類型別にみると、「普通合板と特殊合板」を生産している工場は前年に比べ1工場（25.0%）、「特殊合板のみ」を生産している工場は同9工場（8.8%）それぞれ減少し、「単板のみ」「普通合板のみ」を生産している工場は前年と同数であった。

表11 合単板工場数（令和6年）

区 分	計	単板のみ	普通合板のみ	単位：工場	
				普通合板と特殊合板	特殊合板のみ
全 国	154	27	31	3	93
対前年比（%）	93.9	100.0	100.0	75.0	91.2
構 成 比（%）	100.0	17.5	20.1	1.9	60.4

#### (2) 単板消費量（統計表3(2)参照）

単板消費量は324万9千 $m^3$ で、前年に比べ32万8千 $m^3$ （9.2%）減少した。

これを用途別にみると、合板用が298万5千 $m^3$ で、前年に比べ23万5千 $m^3$ （7.3%）、LVL用は26万4千 $m^3$ で、同9万3千 $m^3$ （26.1%）それぞれ減少した。

表12 単板消費量（令和6年）

区 分	計	単位：千 $m^3$	
		合板用	LVL用
全 国	3,249	2,985	264
対前年比（%）	90.8	92.7	73.9
構 成 比（%）	100.0	91.9	8.1

#### (3) 普通合板及び特殊合板の生産量

##### ア 普通合板生産量（統計表3(3)ア～ウ参照）

普通合板生産量は250万6千 $m^3$ で、前年に比べ2万6千 $m^3$ （1.0%）減少した。

このうち、針葉樹合板生産量は245万 $m^3$ で、前年に比べ3万1千 $m^3$ （1.2%）減少した。

また、厚さ別にみると、「12～24mm」は112万 $m^3$ で、前年に比べ2万3千 $m^3$ （2.1%）増加し、「24mm以上」は95万9千 $m^3$ で、同4万2千 $m^3$ （4.2%）減少した。

表13 普通合板生産量（令和6年）

区 分	普通合板 生 産 量	厚 さ 別				針 葉 樹 合 板	
		6mm未満	6～12	12～24	24mm以上	構 造 用	
全 国	2,506	34	393	1,120	959	2,450	2,233
対前年比（%）	99.0	117.2	97.0	102.1	95.8	98.8	100.2
構 成 比（%）	100.0	1.4	15.7	44.7	38.3	97.8	89.1

イ 特殊合板生産量（統計表 3 (4) 参照）

特殊合板生産量は 48 万 7 千 $m^3$ で、前年に比べ 3 万 2 千 $m^3$ （6.2%）減少した。

表 14 特殊合板生産量（令和 6 年）

単位：千 $m^3$	
区 分	特殊合板生産量
全 国	487
対前年比 (%)	93.8

(4) LVL工場数（統計表 3 (5) 参照）

LVL工場数は 10 工場で、前年に比べ 5 工場（33.3%）減少した。

表 15 LVL工場数（令和 6 年）

単位：工場	
区 分	LVL工場
全 国	10
対前年比 (%)	66.7

(5) LVL生産量（統計表 3 (5) 参照）

LVL生産量は 20 万 8 千 $m^3$ で、前年に比べ 2 万 $m^3$ （8.8%）減少した。

これを用途別にみると、構造用は 11 万 7 千 $m^3$ で、前年に比べ 2 万 7 千 $m^3$ （18.7%）減少し、その他は 9 万 1 千 $m^3$ で、同 7 千 $m^3$ （8.3%）増加した。

表 16 LVL生産量（令和 6 年）

単位：千 $m^3$			
区 分	計	構造用	その他
全 国	208	117	91
対前年比 (%)	91.2	81.3	108.3
構 成 比 (%)	100.0	56.3	43.8

#### 4 木材チップの動向

##### (1) 木材チップ工場数（統計表 4 (1) 参照）

木材チップ工場数は1,073 工場で、前年に比べ46 工場（4.1%）減少した。

これを専門・兼営区分別にみると、「木材チップ専門工場」は318 工場で、前年に比べ9 工場（2.8%）、「製材又は合単板工場等との兼営工場」は755 工場で、同37 工場（4.7%）それぞれ減少した。

表 17 木材チップ工場数（令和 6 年）

区 分	計	単位：工場	
		木材チップ 専門工場	製材又は合単板 工場等との兼営工場
全 国	1,073	318	755
対前年比（%）	95.9	97.2	95.3
構 成 比（%）	100.0	29.6	70.4

##### (2) 木材チップ生産量（統計表 4 (2) 参照）

木材チップ生産量は448 万 8 千 t で、前年に比べ77 万 2 千 t（14.7%）減少した。

これを原材料別にみると、素材（原木）は196 万 t で、前年に比べ45 万 2 千 t（18.7%）、工場残材は180 万 7 千 t で、同27 万 4 千 t（13.2%）、解体材・廃材は67 万 5 千 t で、同4 万 7 千 t（6.5%）それぞれ減少し、林地残材は4 万 6 千 t で、同1 千 t（2.2%）増加した。

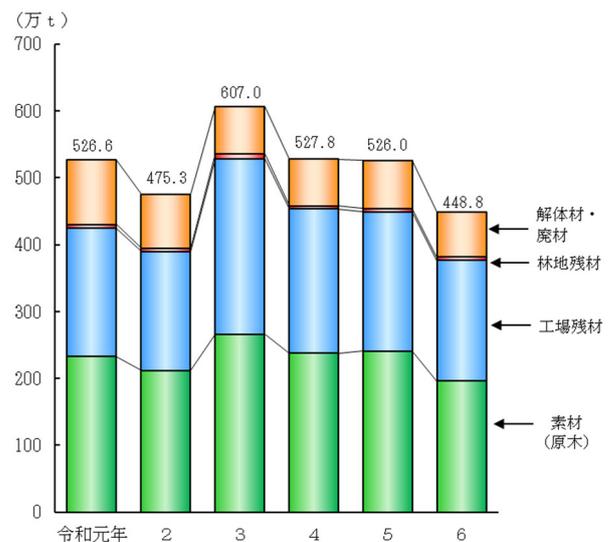
また、針葉樹・広葉樹別にみると、針葉樹は303 万 1 千 t で、前年に比べ51 万 4 千 t（14.5%）、広葉樹は78 万 2 千 t で、同21 万 1 千 t（21.2%）それぞれ減少した。

表 18 木材チップ生産量（全国）（令和 6 年）

区 分	生産量	対前年比	構成比
	千 t	%	%
木材チップ生産量	4,488	85.3	100.0
原材料別			
素材（原木）	1,960	81.3	43.7
工場残材	1,807	86.8	40.3
林地残材	46	102.2	1.0
解体材・廃材	675	93.5	15.0
針葉樹・広葉樹別			
針 葉 樹	3,031	85.5	-
広 葉 樹	782	78.8	-

注：針葉樹・広葉樹別には解体材・廃材を含んでいない。

図 9 原材料別木材チップ生産量の推移（全国）



## 5 集成材及びCLTの動向

### (1) 集成材及びCLT工場数（統計表5(1)参照）

集成材工場数は135工場で、前年に比べ8工場（5.6%）、CLT工場数は9工場、同1工場（10.0%）それぞれ減少した。

表19 集成材及びCLT工場数（令和6年）

単位：工場		
区 分	集成材工場	CLT工場
全 国	135	9
対前年比（%）	94.4	90.0

### (2) ラミナ消費量（統計表5(2)参照）

ラミナ消費量は236万6千 $m^3$ で、前年に比べ42万4千 $m^3$ （21.8%）増加した。

これを用途別にみると、集成材用が233万5千 $m^3$ で、前年に比べ42万1千 $m^3$ （22.0%）、CLT用が3万1千 $m^3$ で、同3千 $m^3$ （10.7%）それぞれ増加した。

表20 ラミナ消費量（令和6年）

単位：千 $m^3$			
区 分	計	集成材用	CLT用
全 国	2,366	2,335	31
対前年比（%）	121.8	122.0	110.7
構 成 比（%）	100.0	98.7	1.3

### (3) 集成材生産量（統計表5(3)参照）

集成材生産量は175万1千 $m^3$ で、前年に比べ7万6千 $m^3$ （4.5%）増加した。

これを用途別にみると、構造用が167万4千 $m^3$ で、前年に比べ8万4千 $m^3$ （5.3%）増加した。

表21 集成材生産量（令和6年）

単位：千 $m^3$						
区 分	計	構造用				その他
		小計	大断面	中断面	小断面	
全 国	1,751	1,674	23	650	1,001	77
対前年比（%）	104.5	105.3	69.7	101.2	109.4	90.6
構 成 比（%）	100.0	95.6	1.3	37.1	57.2	4.4

### (4) CLT生産量（統計表5(4)参照）

CLT生産量は2万1千 $m^3$ で、前年に比べ3千 $m^3$ （16.7%）増加した。

これを用途別にみると構造用が1万9千 $m^3$ で、前年に比べ3千 $m^3$ （18.8%）増加した。

表22 CLT生産量（令和6年）

単位：千 $m^3$			
区 分	計	構造用	その他
全 国	21	19	2
対前年比（%）	116.7	118.8	100.0
構 成 比（%）	100.0	90.5	9.5

## 【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040276490&ext=xls>

## 【調査の概要】

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/gaiyou/>

## 【調査結果の主な利活用】

森林・林業基本計画における林産物の供給及び利用の目標を設定するための資料

## 【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「森林、林業」の「木材統計調査」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/#y>

- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和8年3月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

## 【関連リンク】

林野庁ホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/>

### お問合せ先

- ◎ 本統計調査結果について  
農林水産省 大臣官房統計部  
生産流通消費統計課 畜産・木材統計班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3686  
（直通）03-3502-5665
- ◎ 農林水産統計全般について  
農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 統計広報推進班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589  
（直通）03-6744-2037



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



**SAFF**

農林水産統計  
Statistics of Agriculture,  
Forestry and Fisheries